



# 広 い 心

学校便り 18号  
令和8年 3月19日  
宮古島市立狩俣小学校  
発行者：校長 喜屋武 真史

## 6年生を送る会



3月6日(金)、「6年生を送る会」が行われました。1年生から5年生までの後輩たちから卒業する響稀(ひびき)さん、勝成(かつなり)さん、悠斗(はると)さんに向けて、楽しい出し物や感謝のメッセージが伝えられました。各学年からユニークな出し物がありましたが、どの学年からも「6年生大好き！」という気持ちがよく伝わってきました。最後は6年生と担任の佑弥先生、そして複式学級で1年間一緒に過ごした5年生の2人も加わって、お礼のダンスや歌が披露され、盛り上がりは最高潮になりました。狩俣小学校の全員が笑顔で楽しんでいる様子を見て、「最高学年の6年生が、狩俣小学校の『仲の良さ』『やさしさ』『明るい雰囲気』などをつくってきたのだなあ」としみじみと感じました。

6年生の3人が卒業していくのは淋しいですが、後輩たちが、その伝統(雰囲気)を受け継いでくれたと思います。だから3人も、楽しい思い出を胸に安心して中学校へ進学し、力を発揮してほしいと思います。



## 感動の卒業式



3月13日(金)、来賓、保護者、地域の方々をお迎えして令和7年度の卒業式を執り行うことができました。狩俣小学校の卒業式は、卒業生一人一人にスポットの当たる、とても温かく感動的なものとなりました。

卒業生に向けて、家族からのメッセージが読み上げられ、また、それに応えるように卒業生から保護者へのメッセージが堂々と発表されました。響稀さんは「他の兄弟のお世話もしながら、僕や他の兄弟にちゃんと向き合ってくれたお母さんは、僕の憧れです。」、勝成さんは「こんなに沢山支えてくれたお父さんとお母さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。ここまで頑張ってきたのはお父さんとお母さんのおかげです。」、悠斗さんは、「お母さんがいつも僕を一番に思ってくれるからこそ、僕はどんな困難にも立ち向かっていけるという自信が持てます。」と、感謝の言葉を伝えました。心が育っている「自慢の卒業生」です。



※転出児童について:狩俣3兄妹が、みんなに惜しまれつつ今年度末で転出することになりました。(頑張れー)